

立川市核兵器廃絶平和都市宣言

上記の議案を提出する。

令和 7 年 12 月 11 日

提出者 立川市長 酒井 大史

理由

核兵器廃絶平和都市の宣言をするため。

立川市核兵器廃絶平和都市宣言

かつて飛行場をはじめ多くの軍事施設を有し、戦禍と接収の歴史を持つ立川市は、戦後 80 年を迎えた今、多様な人々が集う、平和と文化のまちへと発展しました。

私たち立川市民は、かけがえのない命と平和を守ることこそ人類共通の願いであり、真の平和は対話と信頼によって築かれるものと信じます。

しかし、混沌とした国際情勢の中にあって、核兵器による威嚇と開発は続いており、平和への願いが脅かされています。

核兵器の使用は人間の尊厳を踏みにじり、非人道的な結末をもたらす行為であり、決して許されるものではありません。

唯一の被爆国として、立川市は核兵器のない世界と恒久平和の実現を目指し、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

令和 7 (2025) 年 12 月 18 日

立 川 市